

3. 指の運動は頭の体そう (スケールとアーティキュレーション)

いろいろな調のスムーズな指使い、スラーやスタッカートのタンギング練習です。

2年目からはビブラートにもチャレンジ！ 1拍4回くらいでかけてみましょう。

① $\text{♩} = 60 \sim 120$

vibrato-----

②

vibrato-----

③

vibrato-----

④

vibrato-----

4. ハキハキと音を伝えよう！ (タンギング)

B dur のスケールにそって練習しましょう。

$\text{♩} = 60$

Tenor Sax in B \flat

デイリー・トレーニング

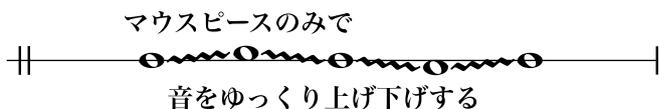
開成ジュニアアンサンブル (2017 改訂版)

まいにちの練習メニューです。時間を決めて行いましょう。

1. 正しい^{しせい}姿勢とアンブシュアをたしかめよう

いすの前半分にすわり、背すじをのばします。両足をゆかにつけ、すぐに立ち上がれるようなかっこうで。

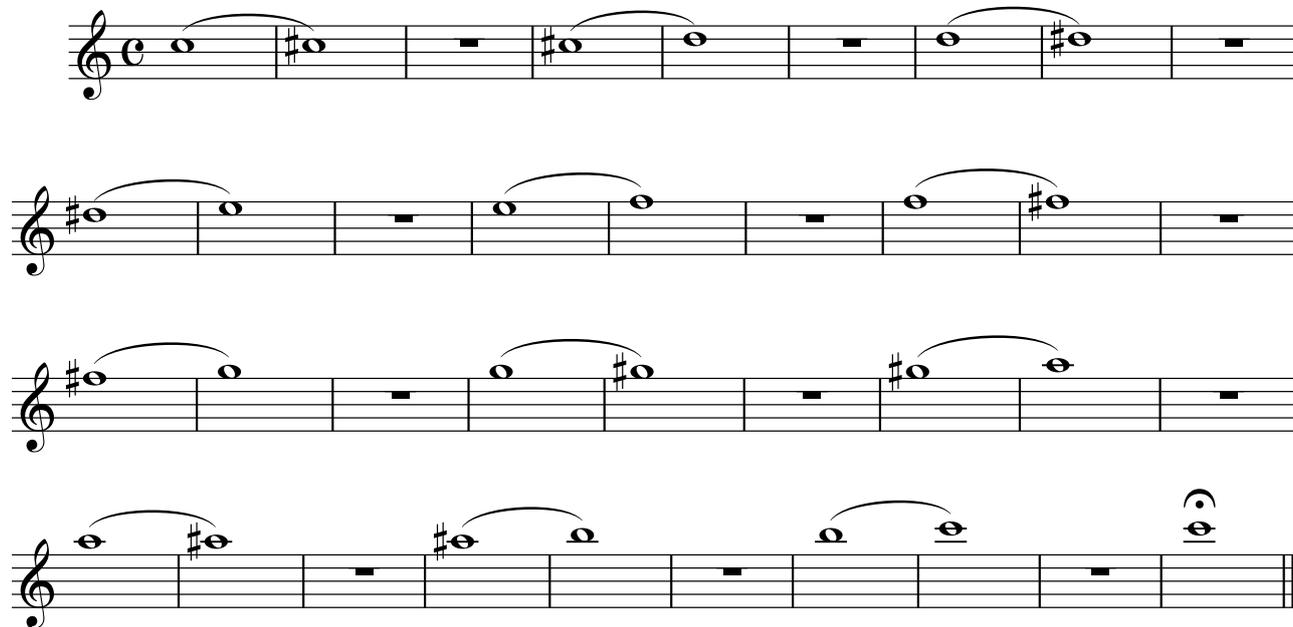
in C



2. いい音めざしてくちびるの筋トレだ～！ (スラーとロングトーン)

メトロノームを 60 にセットして行います。深くブレスをして、音を出す時、音を切る時をていねいに。

$\text{♩} = 60$



3. 指の運動は頭の体そう (スケールとアーティキュレーション)

いろいろな^{ちょう}調のスムーズな指使い、スラーやスタッカートのタンギング練習です。

2年目からはビブラートにもチャレンジ！ 1拍4回くらいでかけてみましょう。

♩ = 60~120

① B

vibrato-----」

② Es

vibrato-----」

③ C

vibrato-----」

④ F

vibrato-----」

4. ハキハキと音を伝えよう！ (タンギング)

B dur のスケールにそって練習しましょう。

♩ = 60

Baritone Sax in E \flat

デイリー・トレーニング

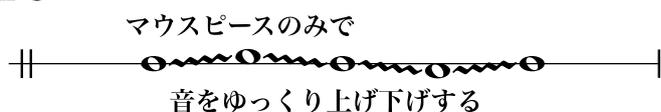
開成ジュニアアンサンブル (2017 改訂版)

まいにちの練習メニューです。時間を決めて行いましょう。

1. 正しい姿勢とアンブシュアをたしかめよう

いすの前半分にすわり、背すじをのばします。両足をゆかにつけ、すぐに立ち上がれるようなかっこうで。

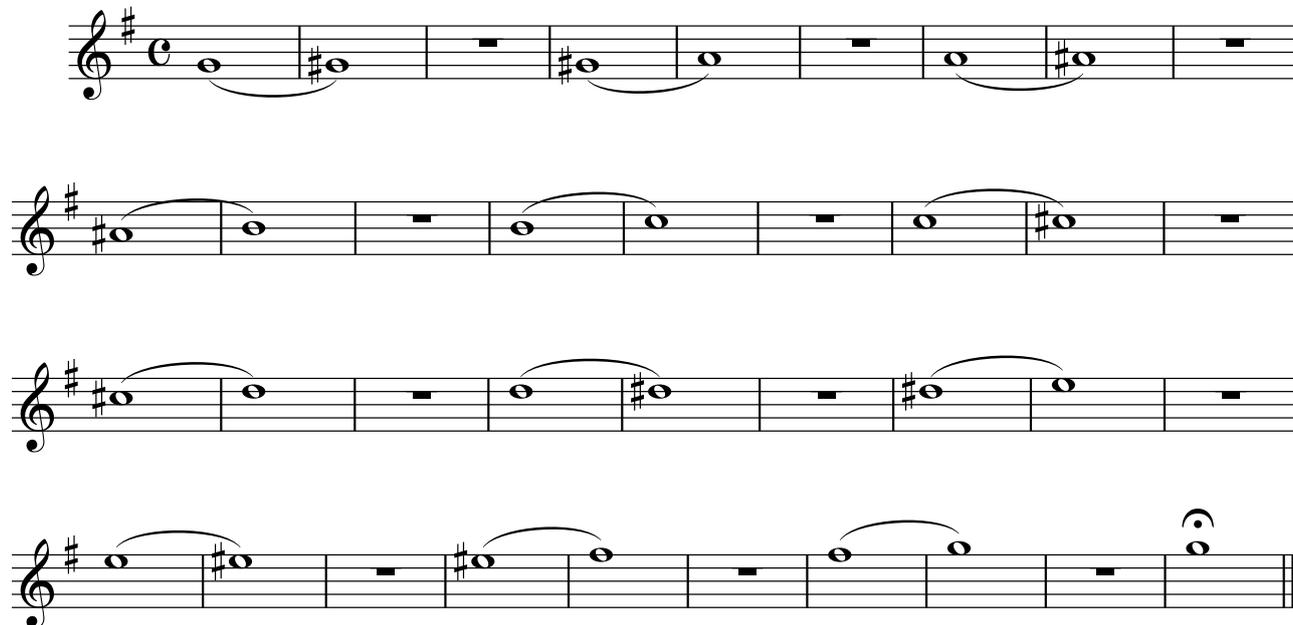
in C



2. いい音めざしてくちびるの筋トレだ～！（スラーとロングトーン）

メトロノームを 60 にセットして行います。深くブレスをして、音を出す時、音を切る時をていねいに。

♩=60

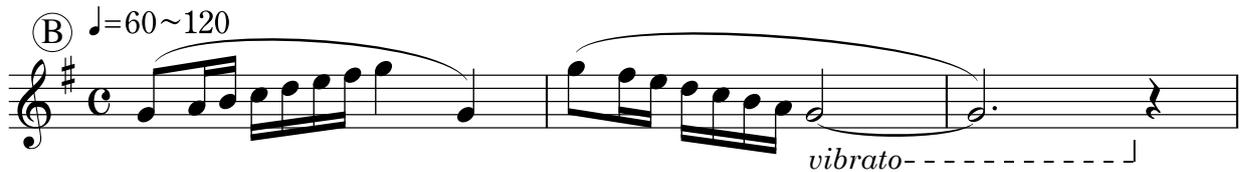


3. 指の運動は頭の体そう (スケールとアーティキュレーション)

いろいろな調のスムーズな指使い、スラーやスタッカートのタンギング練習です。

2年目からはビブラートにもチャレンジ！ 1拍4回くらいでかけてみましょう。

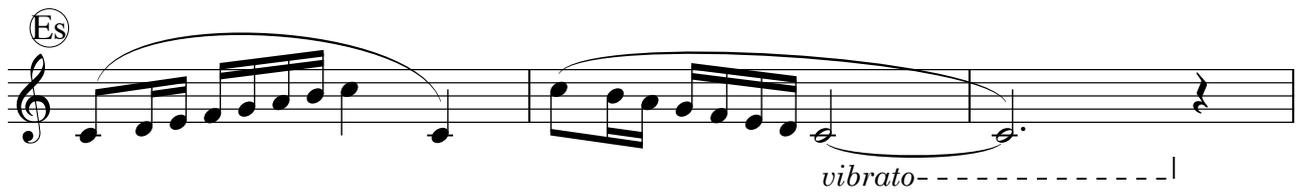
① B ♯ = 60~120



vibrato-----



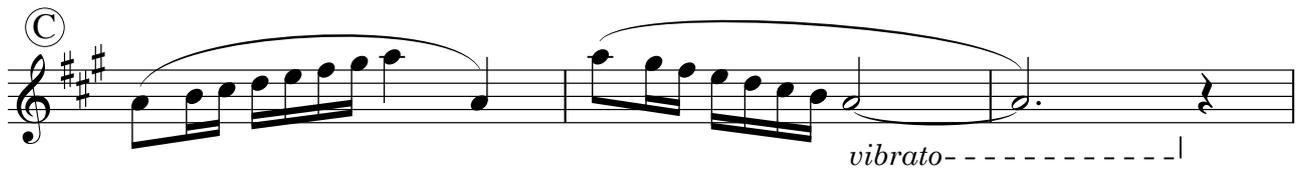
② Es



vibrato-----



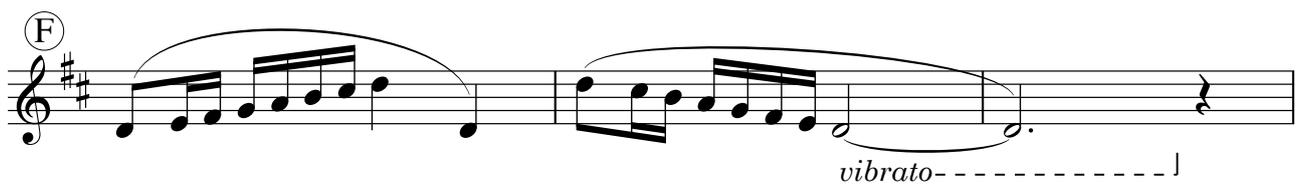
③ C



vibrato-----



④ F



vibrato-----



4. ハキハキと音を伝えよう！ (タンギング)

B dur のスケールにそって練習しましょう。

♩ = 60



Trumpet in B \flat

デイリー・トレーニング

開成ジュニアアンサンブル (2017 改訂版)

まいにちの練習メニューです。時間を決めて行いましょう。

1. 正しい姿勢とアンブシュアをたしかめよう

いすの前半分にすわり、背すじをのばします。両足をゆかにつけ、すぐに立ち上がれるようなかっこうで。

in C マウスピースのみで



2. いい音めざしてくちびるの筋トレだ～！（スラーとロングトーン）

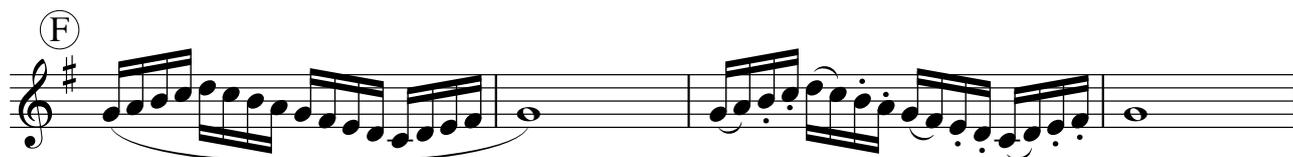
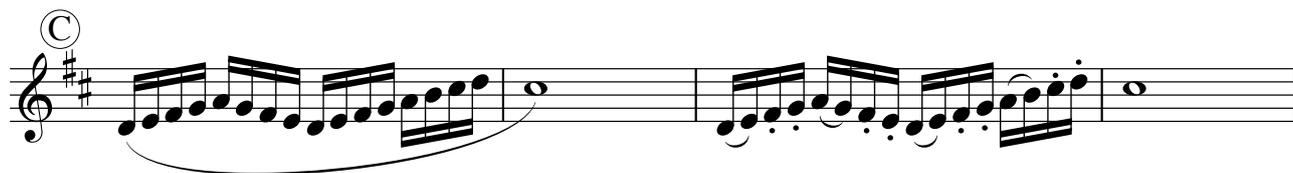
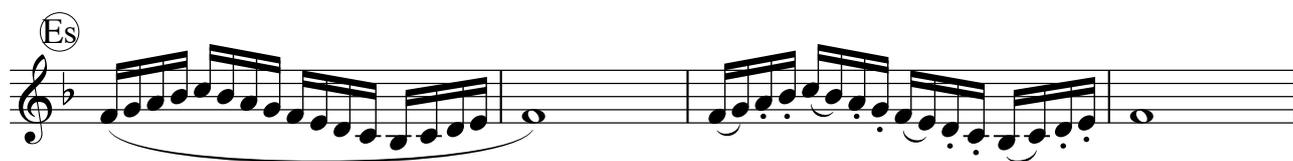
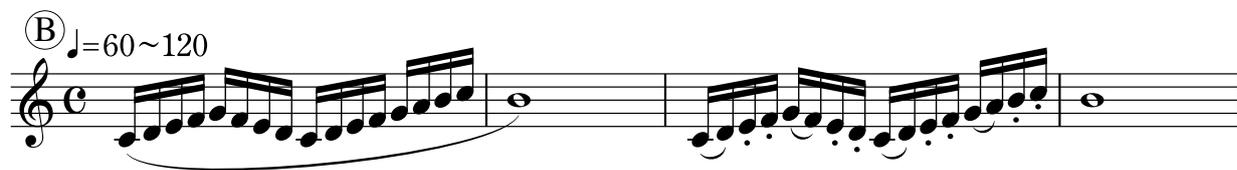
メトロノームを60にセットして行います。深くブレスをして、音を出す時、音を切る時をていねいに。

$\text{♩} = 60$

3. 指の運動は頭の体そう（スケールとアーティキュレーション）

いろいろな調のスムーズな指使い、スラーやスタッカートのタンギング練習です。

marcato（マルカート）とは、「はっきりと」という意味です。強くはっきりと吹きましょう。



4. ハキハキと音を伝えよう！（タンギング）

B dur のスケールにそって練習しましょう。



5. コロコロ音をかえて くちびるのストレッチ！（リップスラー）

金管楽器には欠かせない練習です。だんだん^{むずか}しくなりますので、できるところまでやりましょう。

① ♩=60

0 2 1 12

23 13 123

②

③

④

⑤

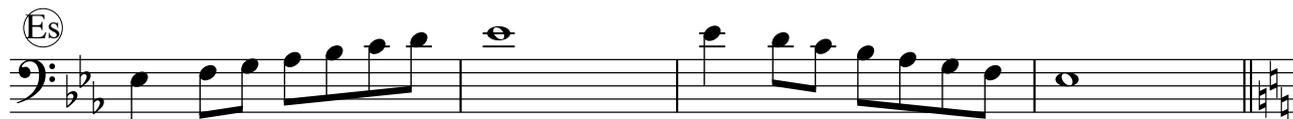
3. 指の運動は頭の体そう (スケールとアーティキュレーション)

いろいろな調のスムーズな指使い、スラーやスタッカートのタンギング練習です。

① B ♭ = 60 ~ 120



② Es



③ C



④ F



⑤ Ch



⑥ P



4. ハキハキと音を伝えよう！ (タンギング)

B dur のスケールにそって練習しましょう。

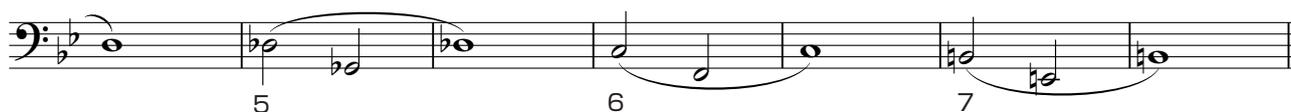
♩ = 60



5. コロコロ音をかえて くちびるのストレッチ！（リップスラー）

金管楽器には欠かせない練習です。だんだん難しく^{むずか}なりますので、できるところまでやりましょう。

① ♩=60



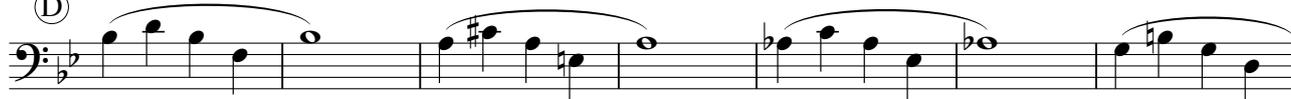
②



③



④



⑤



Piano

デイリー・トレーニング

開成ジュニアアンサンブル (2017 改訂版)

まいにちの練習メニューです。時間を決めて行いましょう。

1. 正しい姿勢^{しせい}をたしかめよう

いすの前半分にすわり、背すじをのばします。両足をゆかにつけ、すぐに立ち上がれるような姿勢にします。

2. メジャー・セブンス・コードの練習 (管楽器: スラーとロングトーン)

メトロノームを 60 にセットして行います。

♩=60

B \flat 7 B7 B7 C7 C7 D \flat 7

D \flat 7 D7 D7 E \flat 7 E \flat 7 E7

E7 F7 F7 G \flat 7 G \flat 7 G7

G7 A \flat 7 A \flat 7 A7 A7 B \flat 7

3-1. 指の運動は頭の体そう (サクセスセクションと合奏できます)

いろいろな調のスムーズな運指、スラーやスタッカートの練習です。

(B) ♩=60~120

(Es)

(C)

(F)

3-2. 指の運動は頭の体そう (トロンボーン・ベースと合奏できます)

いろいろな調のスムーズな^{ちょう}運指^{うんし}の練習です。

The musical score consists of five systems of piano accompaniment, each with a treble and bass clef staff. The first system is marked with a circled 'B' and a tempo of ♩=60~120. It features a key signature of two flats (B-flat and E-flat) and a common time signature. The second system is marked with a circled 'C' and features a key signature of three flats (B-flat, E-flat, and A-flat). The third system is marked with a circled 'F' and features a key signature of one flat (B-flat). The fourth system is marked with a circled 'P' and features a key signature of one sharp (F-sharp). The fifth system is marked with a circled 'Ch' and features a key signature of two sharps (F-sharp and C-sharp). The score includes various musical notations such as eighth and sixteenth notes, rests, and dynamic markings like *gva bassa* and *p*. The piece concludes with a double bar line and repeat dots.

Electric Bass

デイリー・トレーニング

開成ジュニアアンサンブル (2017 改訂版)

まいにちの練習メニューです。時間を決めて行いましょう。

1. 正しい^{かま}構え方・フォームをたしかめよう

立って無理のない^{しせい}姿勢で構えて、左手の人差指 (1)・中指 (2)・薬指 (3)・小指 (4) の順に、1フレット1指の基本フォームを確認しましょう。

2. 正確にリズムをきざもう (管楽器: スラーとロングトーン)

メトロノームを 60 にセットして行います。音を出す時、音を切る時をていねいに^ひ弾きましょう。

♩=60

The musical notation consists of six staves of music in bass clef, 6/8 time signature, and B-flat major key signature. The notation includes various rhythmic patterns such as eighth notes, quarter notes, and rests, with dynamic markings like slurs and accents.

3. 指の運動は頭の体そう (スケールとアーティキュレーション)

いろいろな調のスムーズなポジション移動と連指の練習です。

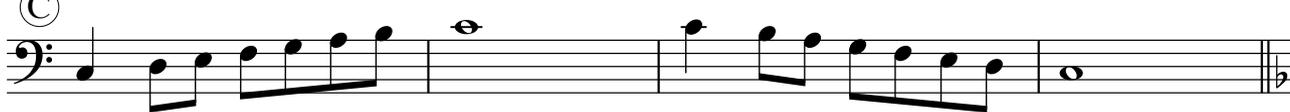
① ♩=60~120



②



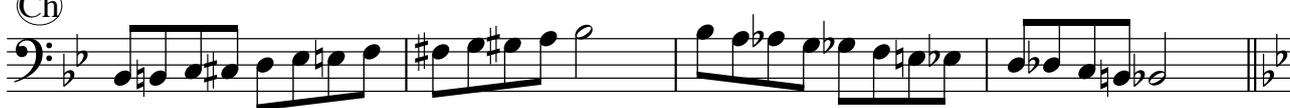
③



④



⑤



⑥



Percussion

デイリー・トレーニング

開成ジュニアアンサンブル (2017 改訂版)

まいにちの練習メニューです。時間を決めて行いましょう。

1. スティックを使ったウォーミング・アップ

- (1) スティックを2本たばねて、片手で真ん中を^{かたて}持ち、バトンのように回す。
- (2) たばねたスティックを両手でつかみ、^{うで}腕を伸ばしたまま頭の上に上げて背伸びをする。

R：右手 L：左手

ドラム・スティックと練習台を使って毎日練習してください。
スティックの3分の1の所を人差し指と親指でしっかりつかみ、他の指は軽くそえ、はね返りを利用しながらたたきます。

◆ 一つ打ち (それぞれの手順を2回ずつ練習)

遅く (うで) → (手首) → できるだけ速く (指) → (手首) → 遅く (うで)

R R R R ~
L L L L ~
R L R L ~

◆ 二つ打ち (一つ打ちができるようになってから練習)

R R L L ~

2. 正確にリズムをきざもう (管楽器：スラーとロングトーン)

メトロノームを60にセットして、練習台の前に立つか、ドラムにすわって行います。

一つ打ち・二つ打ちなど、すべてのパーカッションに共通する基本ストロークの練習です。右手 (R) 左手 (L) の手順に注意し、正確に演奏しましょう。

♩=60

The exercises are as follows:

- Staff 1: R L R L | R L R L | R R L R R L
- Staff 2: R L R L | R L R L | R L R R L R
- Staff 3: L R L R | L R L R | L L R L L R
- Staff 4: L R L R | L R L R | L R L L R L
- Staff 5: R R R R | R L R L | R R L R R L | R L R L | R L R R L R
- Staff 6: L L L L | L R L R | L L R L L R | L R L R | L R L L R L
- Staff 7: A simple ending with a repeat sign and a fermata.

